

# 展示・教育普及

## 1 所蔵作品展

### 展示の概要

県民がいつでも20世紀の美術の展開やその特質に触れることができる展示を提供すると同時に、来館者の多様化する関心に考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術傾向や作品群に焦点をあてた特集展示を行なった。

2001年度から年に一度全館を使用して開催している全館所蔵作品展のうち、展示室1から3では、愛知県が芸術文化センターを会場に開催した「新進アーティストの発見inあいち」にも関連をもたせるかたちで「若き日の美術家たち」と題して、各作家の若い時代の制作に焦点をあてた展示を行った。テーマ展では、貞島直子の制作を紹介した。

数多くの美術品の寄贈を受けた木村定三コレクションについては、展示室1室ないし2室をあてて常時公開した。

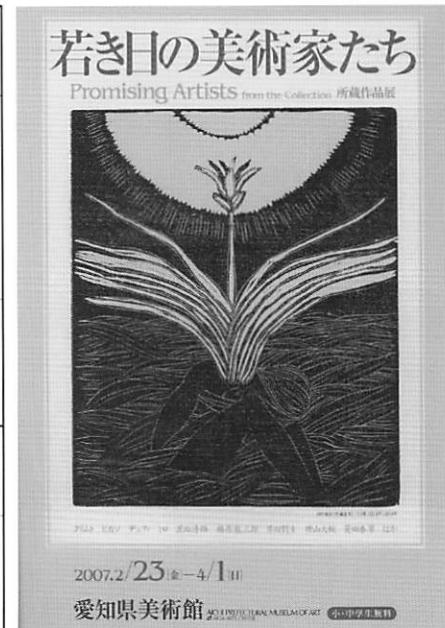
2006（平成18）年所蔵作品展開催状況と入場者数

2006年度第Ⅰ期 2006年6月2日－10月1日 [96日間] 入場者数29,115人（1日平均304人）	
前期(6月2日－7月23日)	小企画：「桑山忠明 ワンルームプロジェクト2006」 (展示室6) 特集等：「20世紀美術の問い合わせ」 「2005年度新収蔵作品展」 「木村定三コレクション 日本の彫刻・工芸」
後期(8月4日－10月1日)	特集等：「国吉康雄－アメリカを生きた画家－」 「20世紀美術の断面」 「木村定三コレクション 家のイメージ」
2006年度第Ⅱ期 2006年10月13日－2007年2月12日 [93日間] 入場者数62,539人（1日平均673人）	
前期(10月13日－12月10日)	特集等：「20世紀の美術」 「キュビズムとその後の展開」 「開かれた窓」 「木村定三コレクションの熊谷守一」
後期(12月20日－2月12日)	テーマ展：真島直子「地ごく楽」(展示室6) 特集等：「20世紀の美術」 「1950・60年代の美術」 「戦後の日本画」 「木村定三コレクション 素朴をめぐって」
2006年度第Ⅲ期 2007年2月23日－4月8日 [39日間] 〔ただし「若き日の美術家たち」は4月1日まで〕 入場者数6,411人（1日平均206人）	
特集等：「20世紀の美術」 「杉戸 洋」 「日本の版画表現の拡大」 「木村定三コレクション：木村定三が支援した若き美術家たち」	
2006年度入場者合計	107,924人（1日平均408人、総開催日数 265日）

※ただし入場者合計は、2006年4月1日から2007年3月31日までの総入者数である。

そのため、2005年度第Ⅲ期のうち、4月1日から5月21日までを含む。

また、2006年度第Ⅲ期は、2007年2月23日から3月31日までの入場者数である。



# 所蔵作品展 展示作品リスト

## ■2006年（平成18）年度第1期

前期は、所蔵作品展の中心をなす20世紀の美術については「20世紀美術の問いかけ」と題して、美術家たちが既成の価値観を問い合わせ、新しい造形の可能性を追究してきたことを取りあげて構成した。また、昨年度の新収蔵作品を特集して紹介するとともに、前年度末からの企画「桑山忠明」を継続展示した。

後期は、「愉しき〈家〉」展の出品作家1名が所蔵作品展内の空間を用いた展示を行ったため、これを含むしたかたちの展示構成をした。また、まとまって寄託を受けている国吉康雄を特集した。

### 前期 2006年6月2日－10月1日（96日間）

#### 展示室4 20世紀美術の問い合わせ

##### 〈絵画〉

ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906
アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13
ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星（習作）	1914
アンリ・マティス 待つ	1921-22
パウル・クレー 女の館	1921
神原泰 生命の流动	1924
藤田嗣治 青衣の少女	1925
ジョアン・ミロ 絵画	1925
ライオネル・ファイニング 夕暮れの海I	1927
古賀春江 夏山	1927
長谷川利行 酒壳場	1927
里見勝蔵 裸婦	1928-1929頃
ジョージア・オキーフ 抽象 第6番	1928
村井正誠 ゴルフジュアンの船	1929
海老原喜之助 ゲレンデ	1930
ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933
エルンスト＝ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭	1935
北川民次 南国の花	1940

##### ポール・デルヴォー

こだま（あるいは「街路の神秘」） 1943

##### マックス・エルンスト

ポーランドの騎士 1954

##### 〈彫刻〉

##### オーギュスト・ロダン

歩く人 1900

##### エルンスト・バルラッハ

忘我 1911-12

##### レイモン・デュシャン＝ヴィヨン

恋人たち 1913

#### 展示室5 20世紀美術の問い合わせ

##### 〈絵画〉

##### ニコラ・ド・スタール

コンポジション 1948

##### アド・ラインハート

No. 114 1950

##### ジャン・デュビュッフェ

二人の脱走兵 1953

##### オノサトトシノブ

三つの黒 1958

##### サム・フランシス

消失に向かう地点の青 1958

##### デヴィッド・スマス

チャイニーズ・レストラン 1959

##### ルーチョ・フォンターナ

空間概念 1960

##### 元永定正

作品 1961

##### 斎藤義重

作品 1962

##### 久野真

鉛による作品 1962

##### ジョーゼフ・アルバース

正方形頃 1962

##### 白髪一雄

作品 1963

##### 菅井汲

ナショナル・ルート N.O. 11 1964

##### 桑山忠明

茶白青 1968

##### フランク・ステラ

River of Ponds IV 1969

##### ロバート・ラウシェンバーグ

プレビュー（白霜エディション） 1974

##### アンディ・ウォーホル

レディーズ・アンド・ジェントルメン 1975

##### 上田薫

なま玉子G 1976

##### アントニ・タビエス

コンポジション 1977

##### クリスト

包まれた旧ドイツ国会議堂ベルリンのためのプロジェクト 1986

##### アグネス・マーティン

無題# 3 1991

##### 吉澤美香

へーⅡ 1992

##### 中村一美

破舎仏涅槃図 I 1993-95

##### 松本陽子

光は荒野の中に拡散している 1993

##### 辰野登恵子

Untitled 95-1 1995

##### 根岸芳郎

1977/11/18 1997

##### 〈立体〉

##### ジム・ダイン

芝刈機 1962

##### ジョージ・シーガル

ロバート&エセル・スカルの肖像 1965

##### 細井篤

ボーダーズ・ゲーム 2004

#### 展示室6 桑山忠明ワールーム・

#### プロジェクト 2006

##### 桑山忠明

無題 2001

\*展示作品のうち3組は2005年度新収蔵作品です。

## 展示室7 2005年度新収蔵作品展

### <絵画・平面作品>

新見虚舟 大島の女	1928頃
新見虚舟 藻魚図	1930頃
新見虚舟 朝餉の白川女	1936
竹田大助 パンチュールE	1952
竹田大助 パンチュールF	1952
竹田大助 牧神の朝	1953
竹田大助 黎明同期	1955
竹田大助 断片	1957-1979
田口安男 つながりあや手	1979
田口安男 空を呼ぶ	1979
田口安男 タタラ火より	1980
沢居曜子 Carbon-Work II-9	1977
沢居曜子 Line-Work VII-78-6	1978
沢居曜子 Line-Work VI-79-15	1979
沢居曜子 Line-Work VI-79-17	1979

### <立体>

毛利武士郎 無題	1954
<b>展示室8 木村定三コレクション 日本の彫刻・工芸</b>	
<彫刻>	

不動明王立像	平安時代 12世紀
天部像	平安時代 12世紀
金銅菩薩像 白鳳時代(飛鳥時代後期) 7世紀後半~8世紀初め	
木造冥官立像	江戸時代 19世紀頃
木造女神坐像	鎌倉時代 13世紀
木造女神坐像	室町時代 15世紀
木造男女神坐像	室町時代 15世紀
木造男女神坐像	室町時代 15世紀
木造男女神坐像	室町時代 15世紀
木造獅子座	室町時代 15世紀
木造獅子狛犬	桃山時代 17世紀
獅子孔雀文磬	室町時代 14末~16世紀後半
金銅孔雀文磬	室町時代 14末~16世紀後半
金銅蓮華式磬	江戸時代 17世紀前半~19世紀後半
蓮蝶文磬	平安末~鎌倉時代
鉦鼓	鎌倉~南北時代
銅鑄製經筒	1147年(平安後期)

## 前室1 2005年度新収蔵作品 中澤英明

中澤英明 子供の顔 クマ	2001
中澤英明 子供の顔 寝ぐせ	2003
中澤英明 子供の顔 ベサメ・ムーチョ	2003
中澤英明 子供の顔 地蔵	2004
中澤英明 子供の顔 米	2004

## 前室2

### <絵画>

山口長男 庭	1935
香月泰男 サッカー	1970
杉戸洋 The Tub	2002
<立体>	
アレクサンダー・コールダー ゴースト	1976
篠原猛史 真っ直ぐな曲線	2004

## ラウンジ

### <立体>

多和圭三 泉一想-	2002
--------------	------

## ロビー

### <絵画>

モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61
---------------------	---------

## 屋外展示スペース

### <彫刻・立体>

コルネリス・ジットマン カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	1984
加藤昭男 大地	1986
小田襄 円柱の構造	1988
今井瑾郎 大地	1992

## 後期 2006年8月4日（金）－10月1日（日）

### 展示室4 20世紀の美術の断面

#### 〈絵画〉

フランツ・ファン・シュトゥック ギリシア神話	制作年不詳
グスタフ・クリムト 人生は戦いなり（黄金の騎士）	1903
エミール・ノルデ 静物I（アマゾーン、能面等）	1915
エルンスト＝ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭	1935
エルンスト＝ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912
北川民次 岩山に茂る	1940
ジョージア・オキーフ 抽象 第6番	1928
マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954
ポール・デルヴォー こだま（あるいは「街路の神秘」）	1943
ライオネル・ファイニングガー 夕暮れの海 I	1927
パウル・クレー 女の館	1921

#### 〈彫刻・立体〉

ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913
ジョルジュ・ミニュ 聖遺物箱を抱ぐ少年	1897
エルンスト・バルラッハ 忘我	1911-12
エルンスト・バルラッハ 母なる大地 II	1920
ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちII	1913
メダルド・ロッソ 病める子	1893

#### 〈版画〉

ヴィルヘルム・レームブルック 母と子（幻影II）	1913
マックス・ベックマン 自画像	1919

マックス・ベックマン あくびをする人達	1918
エミール・ノルデ おしゃべり	1917
ケーテ・コルヴィッツ 畠を耕す者	1906
ケーテ・コルヴィッツ 死の膝に抱かれる女	1921
エミール・ノルデ 自画像	1908
マックス・ベックマン カフェミュージック	1918
ジェームズ・アンソール 悪魔の戦い	1888
田中恭吉 そこにのみかがやくひかり	1914
田中恭吉 ひそめるもの	1914
藤森静雄 夜のピアノ	1914
藤森静雄 ピアノと木	1914
藤森静雄 こころのかげ	1914
藤森静雄 妹は病みぬ	1914
藤森静雄 わがかけ	1914
恩地孝四郎 底のくるしみ	1914
恩地孝四郎 抒情II	1914
恩地孝四郎 抒情VIII（われいかる）	1914
恩地孝四郎 抒情IX（のぞみすてず）	1914

### 展示室5 20世紀の美術の断面

#### 〈絵画〉

ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星（習作）	1914
パブロ・ピカソ 青い肩掛けの女	1902
ベン・ニコルソン 1933（スペインの絵葉書のあるコラージュ）	1933

アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13
ジョアン・ミロ 絵画	1925
ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906
アンリ・マティス 待つ	1921-22
モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61
榎倉康二 干渉（Story-No. 49）	1992
〈彫刻・立体〉	
若林奮 大気中の緑色に属するもの I	1982
ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
ジム・ダイン 芝刈機	1962
イヴ・クライン アルマン	1962
西村陽平 Iron Container for Mummified Magazines	1992
原裕治 アボクリファ No. 1	1994
北山善夫 はなはだ大きいと言うべきである	1984
出原次郎 星虫の死骸	1993
千崎千恵夫 無題	1992
岡本敦夫／野田裕示 地殻-潜むかたち	1996
「愉しき家」展展示作品	
西野達 普通以上の時もあるし、普通以下の時もある	2006
展示室6 20世紀の美術の断面	
〈絵画〉	
丹羽和子 朱い糸	1980
福沢一郎 餓鬼	1972

中村宏 内乱期	1958
池田龍雄 黒い機械	1956
三上誠 環Ⅰ・経絡	1967
中村正義 舞妓	1974
中村正義 顔	1976
中村正義 顔	1976
谷川晃一 ペリカン反射	1965
奈良美智 Walking with Small Steps	1995

**展示室7 [特集展示] 国吉康雄  
—アメリカを生きた画家—**

〈絵画〉

国吉康雄 りんご	1919-20
国吉康雄 ニューイングランドの家畜小屋	1920代
国吉康雄 ボウルのいちじく	1925
国吉康雄 果物（鉢の洋梨とバナナ）	1920
国吉康雄 なすび	1921
国吉康雄 鉢のぶどう、バナナなど	1927
国吉康雄 雑草と太陽	1923
国吉康雄 ぶどう	1934
国吉康雄 静物（メロン、葡萄、梨）	1929
国吉康雄 クッキー	1941
国吉康雄 机の上の梨と葡萄	1945
国吉康雄 荒天	1936
国吉康雄 ハニーカムヒル	1941
国吉康雄 クリップル・クリーク	1941

国吉康雄 タスコ(メキシコ) No. 1	1935
国吉康雄 タスコ(メキシコ) No. 2	1935
国吉康雄 ケーブ・コッド	1940
国吉康雄 木の根	1940
国吉康雄 ロックポートへの道	1940
国吉康雄 廃鉱	1941
国吉康雄 廃村	1941
国吉康雄 鉱山の町	1941
国吉康雄 魚のある静物	1948

**展示室8 木村定三コレクション**

〈絵画〉

岡本柳南 桃花流水	1927
岡本柳南 夏山雨後	1927
岡本柳南 秋月閑居	1927
岡本柳南 雪裏松亭	1927
小川芋鉢 卯月の芭蕉庵	1935
小川芋鉢 海島秋来（稿本）	1932以前
尾崎良二 浜ごうの咲く浜（伊良湖）	1975
長谷川利行 霧岸島の倉庫	1937
熊谷守一 雨水	1959
上司海雲 壺中天	
香月泰男 海（ペーチカ）	1966
香月泰男 風船売り	1960

〈版画〉

浜田知明 初年兵哀歌（銃架の影）	1951
---------------------	------

〈書蹟〉

上司海雲 壺中天	制作年不詳
-------------	-------

〈陶磁器〉

唐津皮鯨杯 銘 蘇鉄 桃山時代、17世紀初め	
青木木米 交趾写三足香炉	江戸時代、19世紀

黒織部茶碗 銘 隅田川 桃山時代、17世紀初め	
-------------------------	--

玳被天目	宋、13世紀
今井康人 伊賀大壺	1985頃

〈彫刻〉

石造三尊仏龕像	北魏、6世紀前半
---------	----------

〈考古・工芸〉

素弁蓮華文軒丸瓦 三国時代 新羅、7世紀半ば	
------------------------	--

鬼面文鬼瓦 統一新羅、8-9世紀	
------------------	--

方形三尊博仏（橘寺） 白鳳時代、7世紀後半	
-----------------------	--

青銅 五輪変形獸文鏡 古墳時代、4-5世紀	
-----------------------	--

銅鑄製経筒及び陶製経筒外容器 平安時代後期	
-----------------------	--

螺鈿樓閣人物文四方盆 明 15-16世紀	
----------------------	--

錫 四花形茶托 清、17-19世紀	
-------------------	--

**前室1**

〈立体・彫刻〉

オシップ・ザッキン チエロのトルソ	1956-57
----------------------	---------

戸張孤雁 女の面部	制作年不詳
--------------	-------

中村悌二郎 平櫛田中像	1919-21
----------------	---------

本郷新	
無辜の民「仏生」	1970
エミール=アントワーヌ・ブルデル	
両手のペートーベン	1908

## 前室2

### 〈絵画〉

近藤文雄	
あいつ	1962
近藤文雄	
裁き	1962
近藤文雄	
さらしもの（3）	1964
近藤文雄	
M氏の肖像	1966

近藤文雄	
6人の盲人たち	1968
近藤文雄	
連なるとみえて	1968
国吉康雄	
籐椅子に座る女	1931
吉本弘	
窓辺（居間にて）	1980

### 〈彫刻・立体〉

アレクサンダー・コールダー	
ゴースト	1976
上藤哲巳	
無限の糸の中のマルセル・デュシャン	1977
篠原猛史	
真っ直ぐな曲線	2004

## 屋外展示スペース

### 〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン	
カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ	
飛躍の瞬間	1984
加藤昭男	
大地	1986
小田 裕	
円柱の構造	1988
今井聰郎	
大地	1992

## ■2006年（平成18）年度第Ⅱ期

前期は20世紀の美術を中心とした展示構成を行い、また木村定三コレクションでは展示室を2部屋用いて熊谷守一を特集した。

後期は、テーマ展として名古屋出身の美術家、真島直子を取り上げた。

## 前期 2006年10月13日（金）－12月10日（日）

### 前室1

### 〈絵画〉

パブロ・ピカソ	
青い肩掛けの女	1902

### ジョルジュ・ブラック

裸体習作	1907-08
小さなキュビズム的ギター	1909-10
ジョルジュ・ブラック	
BASS	1911
ジョルジュ・ブラック	

### FOX

PAL	1911
ジョルジュ・ブラック	
JOB	1911
ジョルジュー・ブラック	
コンポジション（静物Ⅰ）	1911

### コンポジション

（グラスのある静物）	1912
ルイ・マルクーシ	
ギョーム・アプリネールの肖像	1912-20
ジャック・ヴィヨン	
食卓	1913

### ルイ・マルクーシ

ギョーム・アプリネールの肖像	1912-20
ジャック・ヴィヨン	
食卓	1913
ジャック・ヴィヨン	
横顔のイヴォンヌ	1913

### 横顔のイヴォンヌ

ジャック・ヴィヨン	
機械のある工場	1914
ジャック・ヴィヨン	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 機械のある工場

カシミル・マレーヴィチ	
祈り	1913
カシミル・マレーヴィチ	
建設者の完全な肖像	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 農婦

カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 飛行機と汽車に乗った男の同時の死

カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 飛行機と汽車に乗った男の同時の死

カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 飛行機と汽車に乗った男の同時の死

カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 飛行機と汽車に乗った男の同時の死

カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

### 飛行機と汽車に乗った男の同時の死

カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
カシミル・マレーヴィチ	

ロベール・ドローネー  
「カーディフチーム」習作 1913-22頃

〈版画〉

ヴァシリー・カンディンスキー  
たのしき飛翔(『バウハウス・マイスター版画作品集 1923』) 1923

ライオネル・ファイニングガー  
無題(『バウハウス・マイスター版画作品集 1923』) 1918

〈素描〉

フランシス・ピカビア  
糸巻き 1921-22

〈版画〉

ラースロー・モホリ=ナジ  
コンストラクション 1922-23

ラースロー・モホリ=ナジ  
コンストラクション 1922-23

ラースロー・モホリ=ナジ  
コンストラクション 1922-23

ラースロー・モホリ=ナジ  
無題(『バウハウス・マイスター版画作品集 1923』) 1923

〈絵画〉

ライオネル・ファイニングガー  
夕暮れの海 I 1927

ベン・ニコルソン  
1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ) 1933

〈版画〉

フランティシェク・クブカ  
白と黒の4つの物語 1926

展示室5 20世紀の美術

〈立体〉

オーギュスト・ロダン  
歩く人 1900

〈絵画〉

アルベルト・マルケ  
ノートルダムの後陣 1902

ラウル・デュフィ  
サンタドレスの浜辺 1906

中村彝  
静物 1915頃

安井曾太郎  
婦人像 1912頃

エミール・ノルデ  
静物 L(アマゾーン、能面等) 1915

古賀春江  
夏山 1927

長谷川利行  
酒売場 1927

ピエール・ボナール  
にぎやかな風景 1913頃

藤田嗣治  
青衣の少女 1925

海老原喜之助  
ゲレンデ 1930

宮田重雄  
パリ・サンルイ病院裏 1930

三岸節子  
魚とインカの壺 1951

山口薫  
ボタン雪と騎手 1953

脇田和  
断層の人と鳥 1960

パウル・クレー  
女の館 1921

ジョージア・オキーフ  
抽象 第6番 1928

ジョアン・ミロ  
絵画 1925

マックス・エルンスト  
ポーランドの騎士 1954

ポール・デルヴォー  
こだま(あるいは「街路の神秘」) 1943

難波田龍起  
原初的風景 B 1987

〈立体〉

ジョージ・シーガル  
ロバート・エセル・スカルの肖像 1965

ジム・ダイン  
芝刈機 1962

〈絵画〉

猪熊弦一郎  
地図の中の日曜日 1979

モーリス・ルイス  
デルタ・ミュー 1960-61

〈立体〉

イヴ・クライン  
アルマン 1962

〈絵画〉

宇佐美圭司  
ピック・パン 1987

中村一美  
破舎仏涅槃図 I 1993-95

杉戸洋  
the Second Lounge 2002

〈立体〉

舟越桂  
肩で眠る月 1996

展示室6 開かれた窓

〈絵画〉

高橋由一  
不忍池 1880頃

森芳雄  
小路・巴里 1963

エルンストニルートヴィヒ・キルヒナー  
日の当たる庭 1935

アンリ・マティス  
待つ 1921-22

村井正誠  
ゴルフジュアンの船 1929

桑山忠明  
茶白青 1968

ルーチョ・フォンターナ  
空間概念 1960

展示室7 [特集展示]  
木村定三コレクション: 熊谷守一

〈絵画〉

熊谷守一  
線裸 1927

熊谷守一  
裸 1937

熊谷守一  
高原 1940

熊谷守一  
麦畑 1939

熊谷守一  
蓼科牧 1951

熊谷守一  
西日 1955

熊谷守一  
漁村 1954

熊谷守一	
ハルシャ菊	1954
熊谷守一	
仲餅	1949
熊谷守一	
石龜	1957
熊谷守一	
氏家桃林	1956
熊谷守一	
上饅頭	1954
熊谷守一	
梅	1956
熊谷守一	
百日草	1958
熊谷守一	
水仙	1956
熊谷守一	
白猫	1962
熊谷守一	
三毛猫	1959
熊谷守一	
猫	1963
熊谷守一	
猫	1963
熊谷守一	
猫	1965
熊谷守一	
雨水	1959
熊谷守一	
たまご	1959
熊谷守一	
瓜	1965

#### 展示室8 [特集展示] 木村定三コレクション：熊谷守一

〈日本画・書〉	
熊谷守一	
心月輪	1940
熊谷守一	
蟻の会話	1944

後期 2006年12月20日（水）－2007年2月12日（月・振替休）	
展示室4 20世紀の美術	
〈絵画〉	
黒田清輝 暖き日	1897

熊谷守一	
山吹に蜂	制作年不詳
熊谷守一	
蒼蠅	1941
熊谷守一	
無	1940
熊谷守一	
北冥魚化而為鯤	制作年不詳
熊谷守一	
大鵬	制作年不詳
熊谷守一	
鳥	1944
熊谷守一	
からす	1950
熊谷守一	
ほとけさま	1950
熊谷守一	
観世音菩薩	1940
熊谷守一	
拾得	1958
熊谷守一	
二匹蝦蟆	1954
熊谷守一	
蝦蟆に蟻	1938
熊谷守一	
蒲公英に蝦蟆	1938
熊谷守一	
椿に黒つぐみ	1966
熊谷守一	
金太郎	1964
熊谷守一	
虎に羽子	制作年不詳
熊谷守一	
蝶にゼラニューム	1965
熊谷守一	
かけずに紅葉	1965
熊谷守一	
ドクダミに蜆蝶	1960代
熊谷守一	
猫	制作年不詳

山下新太郎	
白耳義の少女	1909
中村葬	
少女裸像	1914
〈立体〉	

#### 前室2

〈絵画〉	
山口長男 庭	1935
〈立体〉	
アレクサンダー・コールダー ゴースト	1976
〈彫刻〉	

熊谷守一 はだか	1952
〈陶磁器〉	
熊谷守一 丁斑魚団皿	制作年不詳
〈立体〉	
アレクサンダー・コールダー 肩膝について	1944

#### 屋外展示スペース

〈彫刻・立体〉	
コルネリス・ジットマン カリブの女	1983
アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	1984
加藤昭男 大地	1986
小田 裏 円柱の構造	1988
今井聰郎 大地	1992

オーギュスト・ロダン 歩く人	1900
〈絵画〉	
グスタフ・クリムト 人生は戦いなり（黄金の騎士）	1903

アルベル・マルケ	
ノートルダムの後陣	1902
ラウル・デュフィ	
サンタドレスの浜辺	1906
アンリ・マティス	
待つ	1921-22
ピエール・ボナール	
にぎやかな風景	1913頃
アメオ・モディリアーニ	
黒い瞳の女	1918
アメオ・モディリアーニ	
カリアティード	1911-13
藤田嗣治	
青衣の少女	1925頃
パブロ・ピカソ	
青い肩掛けの女	1902
野口弥太郎	
門	1931頃
エルンスト＝ルートヴィヒ・キルヒナー	
日の当たる庭	1935
エミール・ノルデ	
静物L(アマゾーン、能面等)	1915
〈立体〉	
レイモン・デュシャン=ヴィヨン	
恋人たち	1913
〈絵画〉	
フランティシェク・クブカ	
灰色と金色の展開	1919
ジャック・ヴィヨン	
存在	1920
〈立体〉	
オシップ・ザツキン	
チェロのトルソ	1956-7
〈絵画〉	
バウル・クレー	
女の館	1921
ライオネル・ファイニングガ	
夕暮れの海I	1927
ジョアン・ミロ	
絵画	1925
マックス・エルンスト	
ポーランドの騎士	1954
ポール・デルヴォー	
こだま(あるいは「街路の神秘」)	1943

ジョージア・オキーフ	
抽象 第6番	1928
<b>展示室5 特集: 1950・60年代の美術</b>	
〈絵画〉	
ニコラ・ド・スター	
コンポジション	1948
ジャン・デュビュッフェ	
二人の脱走兵	1953
真島建三	
原始言語	1963
白髮一雄	
作品	1963
元永定正	
作品	1961
〈立体〉	
毛利武士郎	
無題	1954
〈絵画〉	
杉全直	
窪んだ空間B	1958
田淵安一	
鬼に金棒	1953
水谷勇夫	
口上人	1960
竹田大助	
黎明同期	1955
瑛九	
白い輪	1954
齊藤義重	
作品	1962
田淵安一	
有機的表象	1955
堂本尚郎	
絵画1962-25	1962
アントニ・タビエス	
コンポジション	1977
山口長男	
屏形	1963
サム・フランシス	
消失に向かう地点の青	1958
アグネス・マーティン	
無題#3	1991
アド・ラインハート	
No. 114	1950

フランク・ステラ	
リヴァー・オブ・ポンズ IV	1969
桑山忠明	
茶白青	1968
オノサト トシノブ	
三つの黒	1958
菅井汲	
ナショナル・ルート No. 11	1964
モーリス・ルイス	
デルタ・ミュー	1960-61
〈立体〉	
ジョージ・シーガル	
ロバート&エセル・スカルの肖像	1965
〈絵画〉	
猪熊弦一郎	
マンハッタンA	1966
アンディ・ウォーホル	
レディース・アンド・ジェントルメン	1975
ロバート・ラウシェンバーグ	
プレビュー(白霜エディション)	1974
デヴィッド・スミス	
チャイニーズ・レストラン	1959
〈立体〉	
イヴ・クライン	
アルマン	1962
<b>展示室6 テーマ展 真島直子「地ごく楽」</b>	
<b>展示室7 戦後の日本画</b>	
〈絵画〉	
池田遙邨	
稲掛け	1981
小松均	
富士山(上)・(下)	1977
東山魁夷	
雪の山郷	1991
上村松草	
玄鶴	1968
吉田善彦	
雨余桂林	1982
田淵俊夫	
すぎばやし	1989
麻田鷹司	
鬼界ヶ島	1982

後藤純男  
春映法隆寺 1980

### 展示室8 木村定三コレクション： 素朴をめぐって

#### 〈絵画〉

猫と鼠図 江戸時代17世紀

若衆図 江戸時代18世紀

熊谷守一 少女 1963

香月泰男 風船売り 1960

香月泰男 懸垂 1960

長谷川利行 ノアノアの少女 1937

長谷川利行 霊岸島の倉庫 1937

須田剋太 村祭り 1985

小田まゆみ 女 1966

南桂子 二羽の鳥 1966

南桂子 海辺の少女 1969

小林研三 『小さい旅』より 小島達よ夕暮に安らかなまどいを 1969

小林研三 『小さい旅』より 白い風景のボコ 1969

#### 〈立体・彫刻〉

### ■2006年（平成18）年度第Ⅲ期

#### 全館所蔵作品展 若き日の美術家たち（展示室1－3）

歴史に名を残す美術家たちの多くが、若き日に芸術の理想を求めて模索を重ねたり、既成の価値観に対する挑戦を繰り返したりしながら、新しい美術動向を生み出してきた。全館所蔵作品展のうち、展示室1－3の「若き日の美術家たち」では、そのような美術家たちの若い時代の制作活動に焦点をあてた。この展示は、愛知県が本年度から取り組む、若い芸術家たちの育成事業とも連携したものである。

2006年2月23日（金）－4月8日（日）

#### 若き日の美術家たち

##### 展示室1

田中恭吉 冬蟲夏草 1914

ライオン アフリカ 19世紀

人面装飾壺 エクアドル 500-1534（統合期）

動物装飾容器 エクアドル 500-1534（統合期）

土偶 エクアドル 500-1534（統合期）

蟬 漢 BC2c-AD2c

蛙 前漢 BC2-1c

加藤孝一 太郎 花子 1960代

#### 〈陶磁器〉

青磁象嵌茶碗 銘 狂言符 朝鮮時代 15世紀

三島茶碗 銘 花兜 朝鮮時代 15世紀

熊川茶碗 朝鮮時代 16世紀

斗々屋茶碗 銘 閑寂 朝鮮時代 16世紀

堅手茶碗 朝鮮時代 17世紀

安南茶碗 銘 入船 17世紀

#### ラウンジ

エミール=アントワーヌ・ブルデル  
ペネロープ 1909

#### 前室1

山口勝弘 ヴィトリヌス 1955

#### 前室2

#### 〈立体〉

アレクサンダー・コールダー

片膝ついて 1944

アレクサンダー・コールダー

ゴースト 1976

#### 〈絵画〉

中村彝 静物 1915頃

本郷新 無辜の民「油田地帯」 1970

山口長男 庭 1935

#### 屋外展示スペース

#### 〈彫刻・立体〉

コルネリス・ジットマン カリブの女 1983

アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間 1984

加藤昭男 大地 1986

小田 褒 円柱の構造 1988

今井璋郎 大地 1992

フランス・フォン・シュトック ギリシャ神話 制作年不詳

レオ・ブツツ 花と女 制作年不詳

ジョルジ・ミンヌ	
聖遺物箱を担ぐ少年	1879
オスカー・ココシュカ	
夢みる少年たち	1908
グスタフ・クリムト	
17歳のエミーリエ・フレーゲの肖像	1891
グスタフ・クリムト	
人生は戦いなり（黄金の騎士）	1903
エゴン・シーレ	
しゃがみこむ女	1914
第18回ウィーン分離派展カタログ	
	1903
ハインリヒ・レフラー	
H. C. アンデルセン『王女と豚』	1979
ウィーン工房年鑑	
	1905頃
カール・オットー・チェショカ	
刈り取られた小麦の穂、フランス、ラ・トゥイユ [ニーベンゾン]	1908

## 2. 《月映》

恩地孝四郎、田中恭吉、藤森静二	
《月映》 I ~ IV	1913~1914
カール・シュミット＝ロットルフ	
草刈る人（ブリュッケ展カタログ版画集）	
エーリヒ・ヘッケル	
眠る男（ブリュッケ展カタログ版画集）	
マックス・ベヒュタイン	
裸婦坐像（ブリュッケ展カタログ版画集）	
エーリヒ・ヘッケル	
男と女（ブリュッケ展カタログ版画集）	
ジャーコモ・バッラ	
太陽の前を通過する水星（習作）	1914
ヴァシリー・カンディンスキー	
夕暮れ	1903
ヴァシリー・カンディンスキー	
鏡	1907
カシミル・マレーヴィチ	
農婦	1913
カシミル・マレーヴィチ	
飛行機と汽車に乗った男の同時の死	1913
メダル・ド・ロッソ	
病める子	1893

## 展示室2

### 1章 若き美術家たちの肖像

#### 1. 自己との対話

アンドリュー・ワイエス	
自画像	1938
藤田嗣治	
自画像	1923
佐伯祐三	
自画像	1917
河野通勢	
自画像	1917
大沢鉢一郎	
自画像	1919
宮脇晴	
自画像	1920
宮脇晴	
鳥打帽の自画像	1922
宮脇晴	
鉢巻の自画像	1925
三上誠	
自画像	1940頃
三上誠	
帽子をかぶる自画像	1942頃
三上誠	
肖像（横顔）	1949頃

## 2. 自己の表現を求めて

浅井忠	
八王子付近の街	1887
山本芳翠	
西洋裸婦	1882頃
久米桂一郎	
秋景	1892
黒田清輝	
暖かき日	1897
青木繁	
太田の森	1902
梅原龍三郎	
横臥裸婦	1908
梅原龍三郎	
若き羅馬人	1909
安井曾太郎	
婦人像	1912頃
安井曾太郎	
承德喇嘛廟	1938
安井曾太郎	
風景	1905
安井曾太郎	
人体（女）	1907
中村舞	
少女裸婦	1914

岸田劉生	
高須光治君之肖像	1915
斎藤与里氏像	1913
村山槐多	
信州風景	1914~15
木村荘八	
壺を持つ女	1915
大沢鉢一郎	
大曾根風景	1919
長谷川利行	
酒売場	1927
松本竣介	
ニコライ堂	1941
山本鼎	
漁夫	1904
山本鼎	
風景	1917
谷中安規	
飛ぶ首	1927
谷中安規	
自画像	1932
谷中安規	
朝鮮（民家）	1932
谷中安規	
蝶を吐く人	1933
谷中安規	
虎ねむる	1933
谷中安規	
ゴンドラの月	1936
深沢索一	
丘上走土	1925
太田三郎	
カフェの女	1914
川村澄生	
異国雨の夕景	1925(24)
藤牧義夫	
銀行	1933
藤牧義夫	
まくら橋	1934
荻原守衛	
女の胴	1907
戸張孤雁	
煌めく嫉妬	1924

## 3. 若き美術家たちが集う芸術の都

ラウル・デュフィ	
サンタドレスの浜辺	1906

アルベル・マルケ	
ノートルダムの後陣	1911-13
アレクサンダー・アーキベンコ	
歩く女	1912
ジョアン・ミロ	
絵画	1925
パブロ・ピカソ	
青い肩掛けの女	1902
アメディオ・モディリアーニ	
カリアティード	1911-13
村井正誠	
ゴルフジュアンの船	1929
林俊衛	
サント・ヴィクトワール	1925
川島理一郎	
伎場の図	1925
佐分真	
アパッシュ・シャルボニエ	1931頃
木下孝則	
読書	1931
藤田嗣治	
青衣の女	1925
伊藤廉	
肘をつく女	1929
前田寛治	
褐衣婦人像	1925

## 第2章 若き美術家たちの挑戦

### 1. 日本画の挑戦者たち

山元春挙	
渓村暮@岡	1900頃
横山大観	
飛泉	1900
菱田春草	
紅葉山水	1908
伊東深水	
大島の黎明	1916
前田青邨	
江ノ島詣	1917
前田青邨	
雨の蘇州	1919
小茂田青樹	
漁村早春	1921
小茂田青樹	
柿	1919
速水御舟	
西郊小景	1923

中村岳陵	
芦に白鷺鶴鶴図	1921頃
入江波光	
南欧小景	1923
加山又造	
黒い鳥	1957
中村正義	
人物	1958頃
中村正義	
ピエロ	1963
中村正義	
舞妓	1974
田淵俊夫	
青木ヶ原	1969
水谷勇夫	
担夫	1960
石川英鳳	
猿候の図	1935頃
村上華岳	
梅溪山道	1914
萬鉄五郎	
砂丘風雨	1919-27
土田麦僊	
南国早春	1915

### 2. 新しい可能性を求めて

山口勝弘	
ヴィトリーヌ	1955
金子滋	
黄苦	1951
金子滋	
白夜（龍神図）	1918
元永定正	
作品	1961
白髮一雄	
作品	1963
宇佐美圭司	
遠い歩み	1964
イヴ・クライン	
アルマン	1962
出原次朗	
逃げるものはとじこめる	1993
久野貞	
石膏による作品P.L3x6-U	1957
秋山陽	
Pho II	1959
谷川晃一	
ペリカン反射	1965

竹田大助	
黎明同期	1955
竹田大助	
牧神の朝	1955
竹田大助	
失題10	1961
稲葉桂	
土にかえるもの	1965

## 第3章 若き日とその後

エルンスト＝ルートヴィヒ・キルヒナー	
三本の道	1917
日の当たる庭	1935
グラスのある静物	1912
マルツェラ（ブリュッケ展カタログ版画集）	
水浴び（ブリュッケ展カタログ版画集）	1897
パウル・クレー	
回心した女の墜落	1939
恋人	
喜劇役者	1904
女の館	1921
情熱の園	1913
国吉康雄	
帽子の女	1920頃
荒天	1936
頭に腕を回す女の頭部	1916-17
足を触る裸婦	1916-17
カフェNo. 2	1935
立っている裸婦	1936-41
カーニバル	1949
杉本健吉	
宇治川	1973
冬瓜とわさび	昭和初期

風景（冬木立）	1927
東大寺二月堂湯屋付近	1949
ヨーロッパ風景	1985頃
<b>展示室4・5 20世紀美術</b>	
<絵画>	
ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913頃
ピエール・ボナール 子供と猫	1906頃
アンリ・マティス 待つ	1921-22
アメディオ・モディリアーニ 黒い瞳の女	
レイモン・デュシャン=ヴィヨン 恋人たち	1913
海老原喜之助 雪山と樵	1930
エミール・ノルデ 静物L（アマゾーン、能面等）	1915
野口弥太郎 門	1931頃
<絵画>	
フランティシェク・クブカ 灰色と金色の展開	1919
<立体>	
オシップ・ザツキン チェロのトルソ	1956-7
ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海I	1927
ポール・デルヴォー こだま（あるいは「街路の神秘」）	1943
ニコラ・ド・スタイル コンポジション	1948
ジャン・デュビュッフェ 二人の脱走兵	1953
猪熊弦一郎 マンハッタンA	1966
サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958
サム・フランシス 春	1984-88

瑛九 黄色い花	1957-58
難波田龍起 原初的風景B	1961
アグネス・マーティン 無題#3	1991
アド・ラインハート No. 114	1950
ジョーゼフ・アルバース 正方形頌	1962
山田正亮 Work No. B 182	1958
フランク・ステラ リヴァー・オブ・ボンズ IV	1969
桑山忠明 茶白青	1968
オノサト・トシノブ 三つの黒	1958
菅井汲 ナショナルルート No. 11	1964
堀内正和 四角と丸の組み合わせ b	1956
荒川修作 作品	1963
三尾公三 Fiction Space (X)	1974
宇佐美圭司 ビッグ・パン	1987
杉浦邦恵 子猫の書類（7点組）	1992
エミコ・サワラギ・ギルバート ニア・ペイ I-IV	2003
ニア・ペイ “ニアルバーナ”	2003
沢居曜子 Carbon-Work II-9	1977
Line-Work VII-78-3	1978
Line-Work VII-78-6	1978
Line-Work VII-78-7	1978
Line-Work VII-78-12	1978
Line-Work VI-79-14	1979
Line-Work VI-79-15	1979

Line-Work VI-79-17	1979
辰野登恵子 Aug.-Oct. 1992 (4点)	1992
浅野弥衛 作品	1979
モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61
染谷亞里可 Decolor-Level 3	2001
根岸芳郎 1977-11-18	1977
榎倉康二 干渉 (Story No. 49)	1992
細井篤 ボーダーズ・ゲーム	2004
<b>展示室6 杉戸洋</b>	
杉戸洋 the Rainbow Wall	2002
the Second Lounge	2002
the Wave	2002
the Tub	2002
<b>展示室7 日本の版画表現の拡大</b>	
長谷川潔 小鳥と落葉	1959
骰子独楽と幸福の星	1961
清宮質文 いすこへ	1963
駒井哲郎 夜の魚	1951
海底の祭	1951
時間の迷路	1952
蝕果実	1960
魔法陣	1973
浜口陽三 ざくろ	1957
黒いさくらんぼ	1961

浜田知明	
仮標	1954
刑場 A	1954
瑛九	
驚き	1951
作品	不詳
作品	不詳
輪	1957
縵図	
海野原Ⅲ	1978
池田満寿夫	
タエコの朝食	1963
オノサト・シノブ	
作品	1971
吉原英雄	
シーソー 1	1968
中林忠良	
転位'84-地-1	1984
黒崎彰	
四つの風	1999
加納光於	
稻妻捕り L	1977
原健	
STROKE 90-20	1990
<b>展示室8 木村定三コレクション：</b>	
<b>木村定三が支援した若き美術家たち</b>	
<b>&lt;絵画&gt;</b>	
野田哲也	
日記 1979年8月10日	1979
野田哲也	
日記 1978年2月10日	1978
尾崎良二	
海鶴	1969
尾崎良二	
白川女	1968
尾崎良二	
自転車	1968
尾崎良二	
竹登り	1969

鷺見麿	
蕩々少女	1977
<b>&lt;陶磁器&gt;</b>	
上田恒次	
練上墨流茶碗 銘 大鵬飛翔	1975
上田恒次	
練上墨流茶碗 銘 森の妖精	1975
上田恒次	
辰砂茶碗	
上田恒次	
赤絵五彩梅文箱	
上田恒次	
白磁瓜形花瓶	
上田恒次	
練上鶴手柄円鉢	
今井康人	
伊賀一重切花入	
今井康人	
伊賀耳付花入	1993頃
今井康人	
伊賀水指 銘 猿猴遠望	
今井康人	
伊賀茶碗 銘 水郷樹林	1991
今井康人	
伊賀大壺	1985頃
今井康人	
伊賀平鉢	
岩田安弘	
耀彩天目茶碗 銘 極楽浄土	1995
岩田安弘	
真珠天目茶碗	1996
岩田安弘	
白黄天目茶碗	1996
岩田安弘	
紅天目茶碗	1996
岩田安弘	
耀彩天目水指	1995
岩田安弘	
耀彩天目長首花入	1995
直木美佐	
黒楽茶碗 銘 溪水樹林	1999
直木美佐	
黒楽茶碗 銘 唐衣・妖精洞	1999以前

直木美佐	
黒楽茶碗 銘 沢泉	1999
直木美佐	
赤楽茶碗 銘 三吉野	1999以前
中田一於	
淡桜釉裏銀彩花瓶	
松林 廣	
烏黒天目茶碗 銘 玄中玄	1984
松林 廣	
菊花天目茶碗	1980
中尾恭純	
白磁千段壺	
大島英一郎	
赤絵トランプ文ぐい呑	
大島英一郎	
赤絵象ぐい呑	
大島英一郎	
染付内金彩巻物香合	
大島英一郎	
赤地金彩本型香合	
大島英一郎	
染付内色絵鳥香合	
<b>前室1</b>	
エルンスト・バルラッハ	
忘我	1911-12
<b>母なる大地II</b>	
1920	
<b>前室2</b>	
熊谷守一	
水仙	1950
中村舞	
静物	1915頃
山口長男	
庭	1935
<b>ロビー</b>	
ジョージ・シーガル	
ロバート&エセル・スカルの肖像	1965